

シカ被害対策技術交流会の開催

近年深刻化しているシカ被害対策及びジビエ活用に取り組んでいる方々をお招きし、シカ被害対策技術交流会を開催します。

1 主 旨

近年、近畿中国地域では、ニホンジカ（以下「シカ」という。）の個体数の増加と分布域の拡大が著しくなっており、森林被害の防止等対策を講じる上で、国・府県・市町村・猟友会・研究機関等関係者と連携し、地域の実情に応じた被害対策を講じることが重要となっています。

また、被害防止対策の一環として捕獲した鳥獣を地域資源として有効活用する観点から、捕獲・処理加工・供給・消費の各段階において、利活用推進に必要な取組や課題を共有し、関係者が一体となって取り組むことが必要となっています。

このことから、シカの被害対策を講じている又は研究を行っている関係機関等よりシカ被害対策における課題や最新の捕獲技術等についてご紹介いただくとともに、ジビエ活用に携わる関係機関等より、ジビエの有効活用・需要拡大のための新たな取組等をご紹介いただき、一層のシカ被害対策及びジビエ活用の推進の一助になることを目的として、“シカ被害対策の新たな展開～個体数管理からジビエ利用まで最新の取組を紹介～”をテーマとした「シカ被害対策技術交流会」を開催します。

2 開催日時及び場所

- (1) 日時：平成31年2月20日（水） 10：00～16：00
- (2) 場所：大阪市北区天満橋1丁目8番75号
近畿中国森林管理局 4階 大会議室



(ICTを活用した罠い農)

3 議 題

- (1) 基調講演（講演者、講演題目は別紙のとおり。）
- (2) 講演・情報提供（講演者、講演題目は別紙のとおり。）
- (3) 総合討論

4 共催・協力

共催：(国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所関西支所
環境省 近畿地方環境事務所
林野庁 近畿中国森林管理局
協力：農林水産省 近畿農政局



(小林式誘引捕獲罠)

5 その他

- (1) 本技術交流会は、一般の方も傍聴可能です。
- (2) 傍聴希望者は、2月15日（金）15時まで下記で事前の参加申し込みを受け付けています。（当日参加席も準備しています。）
- (3) 取材を希望される場合は、2月18日（月）17時まで下記までご連絡下さい。

【お問い合わせ先】
林野庁 近畿中国森林管理局 計画保全部 保全課
野生鳥獣管理指導官 澁上（ふちがみ）
電話：06-6881-3443
E-mail：h_fuchigami640@maff.go.jp

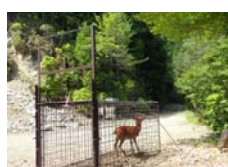
【別紙】

講演者及びスケジュール

- 1 開会挨拶 近畿中国森林管理局長 (10:00 ~ 10:05)
- 2 基調講演 題目：シカは森林生態系の構成員
—シカを考慮した施業体系の構築と資源利用—
京都大学大学院農学研究科 森林科学専攻森林生物学研究室 講師
農学博士 高柳 敦 (10:05 ~ 11:00)
- 3 講演 ①大台ヶ原におけるニホンジカの個体数調整について
環境省 近畿地方環境事務所
自然再生企画官 竹下 守昭 (11:00 ~ 11:25)
- ②森林におけるシカの捕獲と利活用への取組
(国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所関西支所
主任研究員 八代田 千鶴 (11:25 ~ 11:50)
- ③鳥獣害対策ソリューションのご紹介(仮称)
～ICTを利用した捕獲とデータ活用～
西日本電信電話株式会社 クラウドソリューション部
課長 安藝 将典 (12:50 ~ 13:15)
- ④ICT捕獲わなを活用した集落主体の捕獲
兵庫県篠山市 農都創造部農都環境課 里山振興係
主査 武中 和也 (13:15 ~ 13:40)
- ⑤首用くくり罠・小林式誘引捕獲罠の実証結果
近畿中国森林管理局 計画保全部保全課
企画官 積 正治 (13:40 ~ 14:05)
- ⑥ジビエ利活用の現状と取組
近畿農政局農村振興部農村環境課
課長 迫 和昭 (14:05 ~ 14:30)
- ⑦(ジビエの活用・普及)仮称
紀州ジビエ生産販売企業組合 ひなたの杜
理事 伊良波 悟 (14:30 ~ 14:55)
- 4 情報提供 近畿中国森林管理局のシカ被害対策(DVDの紹介)
近畿中国森林管理局 (14:55 ~ 15:05)
- 5 総合討論 コーディネータ
(国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所
野生動物研究領域長 岡 輝樹 (15:15 ~ 15:55)
- 6 閉会 (国研) 森林研究・整備機構
森林総合研究所関西支所長 (15:55 ~ 16:00)



(大杉谷国有林)



(ジビエ利用で有害鳥獣を「マイナス」から「プラス」へ)

>>

